

第95回北海道医学検査学会 終了報告 「今、できること 今、すべきこと ～その時のために～」

学会长 佐藤 克巳

令和5年11月25、26日にわた
り、とかちプラザ（帯広市）にお
いて第95回北海道医学検査学会
を開催致しました。

当日、道央方面は大雪、高速道
路も通行止めの情報が入る中で
の開催となり皆さん来場できる
か心配しておりましたが、帯広は
前夜初雪がちらつくも両日とも
好天に恵まれた中、大きな交通ト
ラブルも無く安堵しました。

今回の学会は Covid 5類移行
後、初の開催となりましたが直前
になって Covid に加え季節外れ
のインフルエンザ流行となり、こ
のままの開催で大丈夫か?との
疑心暗鬼の中での準備。覚悟はし
ておりましたが、学会1~2日前

になつて座長予定者・各会場担当
者から複数名の体調不良による離
脱となり、厳しさを実感しながら
も文字通り学会テーマ「今、でき
ること 今、すべきこと」を全力
でやりましょう!と声を掛け合い
ながらのスタートとなりました。

学会长挨拶でも述べましたが、
「十勝らしさ」をイメージして準
備を重ねた帯広学会。来場頂いた
343名の皆さんに伝わったでしょう
か?

招待講演、清水宏保氏、圧巻で

「今、できること 今、すべきこと
と」を熱く語つていただきました。
「選手として現役」を退いても、
様々な事に現役でいるという気持
ちを持つのが大切とのお話を感銘

を受けました。
ご来場いただいた皆さんにも
「今、できること 今、すべきこと
と」を改めて意識し、未来につな
げて頂ければと思います。

久し振りの情報交換会、少々密
になり過ぎた感も否めませんが、
十勝スイーツコーナー、大抽選会、
松山千春氏からのメッセージビデ
オで大盛り上がりの会場、担当者
がんばりました。

十勝スイーツコーナー♥



学会长と十勝の大スター☆

～情報交換会 終了報告～

コロナが5類になって初めての情報交換会。果たして本当に開催出来るか半信半疑の中での準備。程よい会場が見つからず十勝プラザで行うこととなりました。会場レイアウトを考えたり、ケータリング先を探したり大変でしたが、予定人数を超える会員の皆様にご参加頂き無事開催する事ができました。

情報交換会では、豪華景品が当たる大抽選会を行いましたが、裏の目玉はシークレット動画でした。足寄国保病院の佐藤学会长が地元出身のスターへお手紙を書いて下さり、なんと松山千春さんから第95回北海道医学検査学会宛てにメッセージ動画を頂く事ができたのです。この動画の存在は、学会长を入れて3名しか知らないというトップシークレットでサプライズの予定でしたが

佐藤克巳学会长

のままの開催で大丈夫か?との
疑心暗鬼の中での準備。覚悟はし
おりましたが、学会1~2日前

展示・ワークショップ・ドリン
クコーナー・スイーツコーナーに
協力、協賛いただいた各社の皆様、
感謝申し上げます。

最後に、今回の学会を通じ十勝
地区の中堅・若手会員の豊かな発
想・行動力に接することができ、
この先20年、十勝地区会の運営に
心配無用との印象を受けました。
今後も、会員の力を結集し楽し
く・風通しの良い会を運営してい
く所存です。

本番で音声が出ないというハプニングが起きました。
思い起こしても悔しく、私の心の傷となりました。(笑)

狭い会場でしたが、十勝自慢のスイーツコーナーも大盛況で、最終的には松山千春さんからのメッセージも皆さんにお届けできました。何より会員の皆様が楽しそうに談笑している姿を数年ぶりに見ることができて、開催して本当に良かったと嬉しく思っています。

最後に、松山千春さんメッセージから抜粋「技師の皆さんには感謝しています。どうかこれからも北海道民の命を支えて下さい。人はなぜ生まれてきたのか。それは貢献する為です。自分は歌で、皆さんは医学という世界の中で社会貢献よろしくお願ひします。」

(北斗病院 守谷 恵美)

～演題発表を終えて～

第95回北海道医学検査学会において「微小検体における悪性リンパ腫の診断」という題で発表を行いました。初めての学会発表だったため、抄録やスライドの作成等で上司や先輩に一から指導していただき完成しました。発表当日は質疑応答等で不安や緊張がありましたが、無事発表を終えることができました。発表後は安心した一方、反省点も見つかり、得られたものも多かったです。

そして今回は実務委員として学会運営に携わる機会もあり、地元である帯広で初めての学会発表、運営に携われたことなど様々な経験ができたことを大変嬉しく思います。

今回の経験を活かしてこれからも積極的に学会や勉強会に参加し、より多くの経験を積み自己研鑽に励みたいと思います。

(北海道社会事業協会帯広病院 林 竜輝)



～企画委員を経験して～

第95回北海道医学検査学会において、企画委員として経理を担当させていただきました。拝命を受けた際には私自身が検査技師4年目であり、コロナ禍ということもあって学会経験に乏しく、経理という大役を務められるかプレッシャーもありました。今振り返ると、そこからの約一年間は役員の方々と共に学会成功のために奔走した日々だったと感じています。

準備の段階では、昨今の物価高や光熱費の高騰などにより予算以上にコストがかかる場面が度々発生しましたが、その都度各担当者の方々が、限りある予算の中で最善の方法を模索してくださいました。学会本番を迎え、当日は雪の心配もありましたが多くの方にご来場いただくことができ安堵いたしました。

今学会にご参加くださった皆様、ご尽力くださった役員の方々、ご協力いただいた十勝地区実務委員の方々に感謝申し上げます。この度は貴重な経験をさせていただき誠にありがとうございました。

(国立帯広病院 天野 あかり)



招待講演の清水宏保先生(中央)、中岡千香子先生(左隣)と学会役員

実務委員の皆さまのご尽力により学会も大成功に終わりました!!

十勝地区の皆さま大変お疲れさまでした!!

■学会を終えて・・・■

前回帯広で開催されたのは第86回学会 2011年10月のこと。当時は一応若手、いや中堅として実務委員でバタバタと会場を設営し、写真係で二日間ずっと歩き回っていた事を思い出します。あれから12年、現在は十勝の事務局長という立場から、きっとやらなきやいけないんだろうなあととの思いで、第95回学会企画委員長を引き受ける事となりました。様々な要因が重なり、ようやく正式に企画委員会の活動を始める事ができたのは昨年の年末が見え隠れし始めた頃。職場での業務が積み重なり全く終わりが見えない中、学会の企画も考え進めなければいけない重圧。そんな中、今回の目玉とも言える招待講演の講師、帯広出身のスピードスケートオリンピック金メダリスト、清水宏保さんとの交渉が成立した時には、思わずガッツポーズ!・・・と共にホッと胸をなでおろしてしばらく脱力。その後も十勝の若手~中堅技師の壮絶なるパワーに引きずられながら、なんとか本番当日を迎える事ができました。全てが順調・・・とは行きませんでしたが、終わってみれば十勝らしさ全開のすばらしい学会になったのではと思っております。本学会開催にあたりご協力を頂いた企画・実務委員、北臨技役員、そして多くの企業の皆様方に深く感謝申し上げ、結びとさせて頂きます。

(企画委員長 須藤 英樹)

次回開催は道北地区!!
あさつぴーと森田会長
～8月24・25日in旭川～

